

6年生保護者様

加古川市立尾上小学校

校長 後藤 昌之

令和5年度 全国学力・学習状況調査の結果について

全国学力・学習状況調査は、6年生の児童を対象に、今年度は国語・算数・理科の学習状況と学校や家庭での生活実態を調査するために、全国一斉に4月18日（火）に実施しました。その結果及び概要を保護者の皆様方へお知らせいたします。

国語科

☆概ね力がついていたこと

- ・漢字と送り仮名を正しく書くこと。
- ・中心となることばや文を見つけて、ようやくすること。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・図表から読み取った内容を文章にまとめて説明すること。
- ・自分の考えを条件に合わせた文章で表現すること。



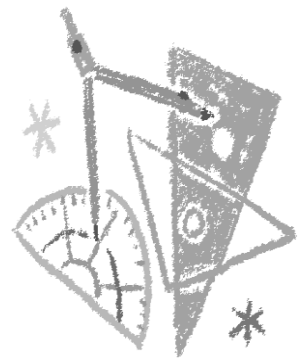
算数科

☆概ね力がついていたこと

- ・変化する数量の変化の特徴を読み取り、表の中の知りたい数を求めること。
- ・表の中の適切な数字を用いて、数量の変化の特徴を説明すること。

☆これから力をつけていきたいこと

- ・「図形」において学んだ知識を実際の生活の場面で有効に活用すること。
- ・底辺と高さで三角形面積の関係など、学んだ知識を用いて面積の大小を判断するとともに、その理由を言葉や数を用いて記述すること。



生活実態調査

- ・ 「人の役に立つ人間になりたいと思う」と回答した児童は約95.2%で、多くの児童が社会貢献を願っています。
- ・ 「自分には、よいところがある」と回答した児童は約83.9%で、兵庫県や全国の割合を上回っています。
- ・ 「学校に行くのは楽しいと思う」と回答した児童は81.0%です。
- ・ 「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」という質問に対し、96.2%以上の児童が「いけないことである。」という意識をもっています。
- ・ 「自分と違う意見について考えるのは楽しい」と回答した児童は、79.1%に達しており、兵庫県や全国の割合を上回っています。
- ・ 「新聞を読んでいる」と回答した児童は、2.9%しかおらず、児童が、地域や社会で起こっている事象を知る方法がスマートフォンなどに変わってきていることがわかります。
- ・ 平日、学校の授業時間以外に、1日当たり2時間以上勉強をしている児童は約16.2%で、兵庫県や全国の割合を下回っています。平日に30分以上読書をしている児童は約17.2%で、読書離れも進んでいます。
- ・ 「学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思う」という回答は95.3%に達しており、ICT機器を活用したスマートスクールへの期待が感じられます。
- ・ 「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」という回答は70.5%、「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている」と答えた児童は79.0%で、コロナ禍であったにもかかわらず、主体的・対話的で深い学びにつながる学習が実践されていると感じられます。
- ・ 「道徳科の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童は76.2%でやや低く、「考え、議論する道徳」へ向けての工夫が必要なことを示しています。
- ・ 「国語科の勉強が好き」と回答した児童は約59.1%でした。また、「国語科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」と回答した児童は約87.6%と高く、児童の国語科の学習内容の社会生活における汎用性への関心の深さが感じられます。
- ・ 「算数の勉強は大切だと思う」と回答した児童は88.5%であるのに対し、「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童は66.7%にとどまっており、算数科に対する児童の思いと理解度の間にやや乖離が見られます。
- ・ 「英語の勉強は大切だと思う」と回答した児童が84.7%いるのに対して、「将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思う」と回答した児童は50.4%にとどまっていることから、外国語科の学習内容の価値は理解しているものの、それを生かした就業意欲にまでは高まっていないことを示しています。

学習状況についてまとめると、国語科での「言葉の使い方」や「読むこと」、算数科の「データ活用」や「変化と関係」等の基礎学力は概ねついているものの、自分の考えをまとめたり、生活の中に生かしたり、記述して説明したりする活用能力に課題が残る結果でした。日頃から自分のことばで文章を書く活動を取り入れたり、協同的探究学習を推進したりしながら、生活の場面の中から課題を見つけ、解決していく学習を実践していくことが必要と考えられます。

今後、豊かで多様な「学び」を通して児童が話すことや書くことに慣れ親しみ、主体的・対話的で深い学びを通して課題を解決することができるように、日々の授業改善を図りながら指導にあたりたいと思います。また、ご家庭でも生活習慣を整え、家庭学習の充実を図るなどご協力をお願いします。